

令和6年度 東邦音楽短期大学 音楽科【器楽専攻ピアノコース】カリキュラムツリー(履修系統図)

科目の区分	1年次		2年次	
	前期	後期	前期	後期
基礎教育科目	東邦スタンダード I A	東邦スタンダード I B	東邦スタンダード II A	東邦スタンダード II B
	キャリアデザイン			
外国の言語と文化	現代の心理学[発達心理を含む]A ひとを読み解く科学A(※令和6年度は未開講)	現代の心理学[発達心理を含む]B ひとを読み解く科学B(※令和6年度は未開講)	社会福祉概論[老人・児童福祉を含む]A 法と経済[日本国憲法を含む]A 健康と音楽A	社会福祉概論[老人・児童福祉を含む]B 法と経済[日本国憲法を含む]B 健康と音楽B
	コンピューター演習A・B			
音楽専門教育科目	ドイツ語圏異文化コミュニケーション1・ドイツ語圏異文化コミュニケーション2			
	英語圏異文化コミュニケーション1・英語圏異文化コミュニケーション2			
	イタリア語圏異文化コミュニケーション1・イタリア語圏異文化コミュニケーション2			
音楽専門教育科目	和声学1 レッスンマネージメントA THEプロフェッショナルA 音楽の基礎理論A 音楽史A 楽器の特性と機能A 作曲家の人生と作品 I(※令和6年度は未開講) 作曲家の人生と作品 II	和声学2 レッスンマネージメントB THEプロフェッショナルB 音楽の基礎理論B 音楽史B 楽器の特性と機能B 楽曲の楽しみ方 I(※令和6年度は未開講) 楽曲の楽しみ方 II	和声学3 ピアノ指導者教材研究A シンギングポップスA サウンドクリエーションA	和声学4 ピアノ指導者教材研究B シンギングポップスB サウンドクリエーションB
	専攻実技1(ピアノ)	専攻実技2(ピアノ)	専攻実技3(ピアノ)	専攻実技4(ピアノ)
	合唱 I A	合唱 I B	合唱 II A	合唱 II B
	副科実技 I A(ピアノ)	副科実技 I B(ピアノ)	副科実技 II A(ピアノ)	副科実技 II B(ピアノ)
	副科実技 I A(声楽)	副科実技 I B(声楽)	副科実技 II A(声楽)	副科実技 II B(声楽)
	副科実技 I A(管弦打)	副科実技 I B(管弦打)	副科実技 II A(管弦打)	副科実技 II B(管弦打)
	アンサンブル I A ピアノ/電子オルガン/管弦打	アンサンブル I B ピアノ/電子オルガン/管弦打	アンサンブル II A ピアノ/電子オルガン/管弦打	アンサンブル II B ピアノ/電子オルガン/管弦打
	電子オルガン即興演奏 I A(※令和6年度は未開講)	電子オルガン即興演奏 I B(※令和6年度は未開講)	電子オルガン即興演奏 II A(※令和6年度は未開講)	電子オルガン即興演奏 II B(※令和6年度は未開講)
	オーケストラ I A ウインドオーケストラ I A	オーケストラ I B ウインドオーケストラ I B	オーケストラ II A ウインドオーケストラ II A	オーケストラ II B ウインドオーケストラ II B
	伴奏法		即興演奏	
ソルフェージュ1	ソルフェージュ2	ソルフェージュ3	ソルフェージュ4	
リトミック I A	リトミック I B	リトミック II A	リトミック II B	
演奏演習				
日本事情 I A 日本語1	日本事情 I B 日本語2	日本事情 II A 日本語3	日本事情 II B 日本語4	
ウィーンアカデミー(ウィーン研修)				
ヒューマンコミュニケーション1		ヒューマンコミュニケーション2		
インターンシップ				
地域創造A・B				
留学生科目	P.M.E I A	P.M.E I B	P.M.E II A	P.M.E II B
人間教育科目				
文化教養科目				

赤字	必修科目
青字	選択必修科目
黒字	選択科目

カリキュラムポリシー

知識・技能
 教養と技能を育む全学共通カリキュラム「東邦スタンダード」を設置する。
 広範で多様な基礎知識の獲得と専門性を高めるために、体系的で順次性のある幅広い学修が可能な科目群を設置する。
 専門的な方法論と知識を学ぶために、専攻実技は個人レッスンを実施する。

思考力・判断力・表現力
 専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。
 知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題解決力、問題解決力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブラーニングを取り入れた参加型の少人数授業を実施する。

意欲・関心・志向性
 社会とつながる学修の充実を図り文化の発展や地域社会に貢献できる人材育成。
 身に着けた知識やスキルを統合し、問題解決力と、新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する。

知識・技能
 多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力
 専攻分野を中心とした知識と技能

思考力・判断力・表現力
 現代社会に必要なとされるコミュニケーション能力
 体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決をする能力
 自己発信のプレゼンテーション能力

意欲・関心・志向性
 専門分野を超えて問題を探求する姿勢
 自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野(自己管理能力・チームワーク)
 生涯にわたって探求しようとする姿勢(生涯学習力)
 多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲(社会的責任・チームワーク・リーダーシップ)

建学の精神・教育の理念「音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を目的とする」

・鍵盤音楽の歴史や理論を体系的に理解し、時代様式を踏まえた演奏ができる。
 ・多彩な演奏技術を身につけて表現することができる。
 ・専門領域以外にも国際的に視野を広げて、演奏に活かすことができる。

令和6年度 東邦音楽短期大学 音楽科【器楽専攻ピアノ指導者コース】カリキュラムツリー(履修系統図)

科目の区分	1年次		2年次	
	前期	後期	前期	後期
基礎教育科目	東邦スタンダード I A	東邦スタンダード I B	東邦スタンダード II A	東邦スタンダード II B
	キャリアデザイン			
	現代の心理学[発達心理を含む]A ひとを読み解く科学A(※令和6年度は未開講)	現代の心理学[発達心理を含む]B ひとを読み解く科学B(※令和6年度は未開講)	社会福祉概論[老人・児童福祉を含む]A 法と経済[日本国憲法を含む]A 健康と音楽A	社会福祉概論[老人・児童福祉を含む]B 法と経済[日本国憲法を含む]B 健康と音楽B
	コンピューター演習A・B			
	ドイツ語圏異文化コミュニケーション1・ドイツ語圏異文化コミュニケーション2			
	英語圏異文化コミュニケーション1・英語圏異文化コミュニケーション2			
	イタリア語圏異文化コミュニケーション1・イタリア語圏異文化コミュニケーション2			
	和声学1 レッスンマネージメントA THEプロフェッショナルA 音楽の基礎理論A 音楽史A 楽器の特性と機能A 作曲家の人生と作品 I (※令和6年度は未開講) 作曲家の人生と作品 II	和声学2 レッスンマネージメントB THEプロフェッショナルB 音楽の基礎理論B 音楽史B 楽器の特性と機能B 作曲の楽しみ方 I (※令和6年度は未開講) 作曲の楽しみ方 II	和声学3 ピアノ指導者教材研究A シンギングポップスA サウンドクリエーションA	和声学4 ピアノ指導者教材研究B シンギングポップスB サウンドクリエーションB
	ピアノ指導法1	ピアノ指導法2	ピアノ指導法3	ピアノ指導法4
	専攻実技1(ピアノ指導者)	専攻実技2(ピアノ指導者)	専攻実技3(ピアノ指導者)	専攻実技4(ピアノ指導者)
卒業演奏・卒業作品発表又は卒業研究発表				
合唱 I A 副科実技 I A(ピアノ) 副科実技 I A(声楽) 副科実技 I A(管弦打)	合唱 I B 副科実技 I B(ピアノ) 副科実技 I B(声楽) 副科実技 I B(管弦打)	合唱 II A 副科実技 II A(ピアノ) 副科実技 II A(声楽) 副科実技 II A(管弦打)	合唱 II B 副科実技 II B(ピアノ) 副科実技 II B(声楽) 副科実技 II B(管弦打)	
アンサンブル I A ピアノ/電子オルガン/管弦打	アンサンブル I B ピアノ/電子オルガン/管弦打	アンサンブル II A ピアノ/電子オルガン/管弦打	アンサンブル II B ピアノ/電子オルガン/管弦打	
電子オルガン即興演奏 I A(※令和6年度は未開講)	電子オルガン即興演奏 I B(※令和6年度は未開講)	電子オルガン即興演奏 II A(※令和6年度は未開講)	電子オルガン即興演奏 II B(※令和6年度は未開講)	
オーケストラ I A ウインドオーケストラ I A	オーケストラ I B ウインドオーケストラ I B	オーケストラ II A ウインドオーケストラ II A	オーケストラ II B ウインドオーケストラ II B	
伴奏法		即興演奏		
ソルフェージュ1	ソルフェージュ2	ソルフェージュ3	ソルフェージュ4	
リトミック I A	リトミック I B	リトミック II A	リトミック II B	
演奏演習				
日本事情 I A 日本語1	日本事情 I B 日本語2	日本事情 II A 日本語3	日本事情 II B 日本語4	
ウィーンアカデミー(ウィーン研修)				
ヒューマンコミュニケーション1		ヒューマンコミュニケーション2		
インターンシップ				
地域創造A・B				
P.M.E I A	P.M.E I B	P.M.E II A	P.M.E II B	

赤字 必修科目
青字 選択必修科目
黒字 選択科目

カリキュラムポリシー

知識・技能
教養と技能を育む全学共通カリキュラム「東邦スタンダード」を設置する。
広範で多様な基礎知識の獲得と専門性を高めるために、体系的で順次性のある幅広い学修が可能な科目群を設置する。
専門的な方法論と知識を学ぶために、専攻実技は個人レッスンを実施する。

思考力・判断力・表現力
専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。
知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題探求力、問題解決力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブラーニングを取り入れた参加型の少人数授業を実施する。

意欲・関心・志向性
社会とつながる学修の充実を図り文化の発展や地域社会に貢献できる人材育成。
身に着けた知識やスキルを統合し、問題解決力と、新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する。

ディプロマポリシー

知識・技能
多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力
ピアノ指導に関する専門的知識・技能を修得し、それらをピアノ指導の実践に活用することができる。
専攻分野を中心とした知識と技能

思考力・判断力・表現力
現代社会に必要なとされるコミュニケーション能力
体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決をする能力
自己発信のプレゼンテーション能力

意欲・関心・志向性
専門分野を超えて問題を探求する姿勢
自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野(自己管理能力・チームワーク)
生涯にわたって探求しようとする姿勢(生涯学習力)
多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲(社会的責任・チームワーク・リーダーシップ)

建学の精神・教育の理念「音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を目途とする」

令和6年度 東邦音楽短期大学 音楽科【声楽専攻】カリキュラムツリー(履修系統図)

科目の区分

1年次		2年次	
前期	後期	前期	後期
東邦スタンダード I A	東邦スタンダード I B	東邦スタンダード II A	東邦スタンダード II B
キャリアデザイン			
現代の心理学[発達心理を含む]A ひとを読み解く科学A(※令和6年度は未開講)	現代の心理学[発達心理を含む]B ひとを読み解く科学B(※令和6年度は未開講)	社会福祉概論[老人・児童福祉を含む]A 法と経済[日本国憲法を含む]A 健康と音楽A	社会福祉概論[老人・児童福祉を含む]B 法と経済[日本国憲法を含む]B 健康と音楽B
コンピューター演習A・B			
ドイツ語圏異文化コミュニケーション1・ドイツ語圏異文化コミュニケーション2			
英語圏異文化コミュニケーション1・英語圏異文化コミュニケーション2			
イタリア語圏異文化コミュニケーション1・イタリア語圏異文化コミュニケーション2			
和声学1 レッスンマネジメントA THEプロフェッショナルA 音楽の基礎理論A 音楽史A 楽器の特性と機能A 作曲家の人生と作品 I(※令和6年度は未開講) 作曲家の人生と作品 II	和声学2 レッスンマネジメントB THEプロフェッショナルB 音楽の基礎理論B 音楽史B 楽器の特性と機能B 楽曲の楽しみ方 I(※令和6年度は未開講) 楽曲の楽しみ方 II	和声学3 ピアノ指導者教材研究A シンギングポップスA サウンドクリエーションA	和声学4 ピアノ指導者教材研究B シンギングポップスB サウンドクリエーションB
専攻実技1(声楽)	専攻実技2(声楽)	専攻実技3(声楽)	専攻実技4(声楽)
		卒業演奏・卒業作品発表又は卒業研究発表	
合唱 I A 副科実技 I A(ピアノ) 副科実技 I A(声楽) 副科実技 I A(管弦打)	合唱 I B 副科実技 I B(ピアノ) 副科実技 I B(声楽) 副科実技 I B(管弦打)	合唱 II A 副科実技 II A(ピアノ) 副科実技 II A(声楽) 副科実技 II A(管弦打)	合唱 II B 副科実技 II B(ピアノ) 副科実技 II B(声楽) 副科実技 II B(管弦打)
アンサンブル I A ピアノ/電子オルガン/管弦打	アンサンブル I B ピアノ/電子オルガン/管弦打	アンサンブル II A ピアノ/電子オルガン/管弦打	アンサンブル II B ピアノ/電子オルガン/管弦打
電子オルガン即興演奏 I A(※令和6年度は未開講)	電子オルガン即興演奏 I B(※令和6年度は未開講)	電子オルガン即興演奏 II A(※令和6年度は未開講)	電子オルガン即興演奏 II B(※令和6年度は未開講)
オーケストラ I A ウインドオーケストラ I A	オーケストラ I B ウインドオーケストラ I B	オーケストラ II A ウインドオーケストラ II A	オーケストラ II B ウインドオーケストラ II B
伴奏法		即興演奏	
ソルフェージュ1	ソルフェージュ2	ソルフェージュ3	ソルフェージュ4
リトミック I A	リトミック I B	リトミック II A	リトミック II B
演奏演習			
日本事情 I A 日本語1	日本事情 I B 日本語2	日本事情 II A 日本語3	日本事情 II B 日本語4
ウィーンアカデミー(ウィーン研修)			
ヒューマンコミュニケーション1		ヒューマンコミュニケーション2	
インターンシップ			
地域創造A・B			
P.M.E I A	P.M.E I B	P.M.E II A	P.M.E II B

赤字	必修科目
青字	選択必修科目
黒字	選択科目

教養と技能を育む全学共通カリキュラム「東邦スタンダード」を設置する。

広範で多様な基礎知識の獲得と専門性を高めるために、体系的で順次性のある幅広い学修が可能な科目群を設置する。

専門的な方法論と知識を学ぶために、専攻実技は個人レッスンを実施する。

専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。

知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題探求力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブラーニングを取り入れた参加型の少人数授業を実施する。

社会とつながる学修の充実を図り文化の発展や地域社会に貢献できる人材育成。

身に着けた知識やスキルを統合し、問題解決力と、新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する。

基礎教育科目

外国の言語と文化

音楽専門教育科目

留学生科目

人間教育科目

文化教養科目

多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力

専門分野である声楽に関する専門的知識・技能を修得し、声楽の特徴である言葉に伴う音楽表現に必要な知識・技術を身につけて、表現することができる。

専攻分野を中心とした知識と技能

現代社会に必要とされるコミュニケーション能力

体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決をする能力

自己発信のプレゼンテーション能力

専門分野を超えて問題を探求する姿勢

自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野(自己管理能力・チームワーク)

生涯にわたって探求しようとする姿勢(生涯学習力)

多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲(社会的責任・チームワーク・リーダーシップ)

建学の精神・教育の理念(音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を目的とする)

ディプロマポリシー

知識・技能

思考力・判断力・表現力

意欲・関心・志向性

令和6年度 東邦音楽短期大学 音楽科【器楽専攻管弦打楽器コース】カリキュラムツリー(履修系統図)

科目の区分	1年次		2年次	
	前期	後期	前期	後期
基礎教育科目	東邦スタンダード I A	東邦スタンダード I B	東邦スタンダード II A	東邦スタンダード II B
	キャリアデザイン			
外国の言語と文化	現代の心理学[発達心理を含む]A ひとを読み解く科学A(※令和6年度は未開講)	現代の心理学[発達心理を含む]B ひとを読み解く科学B(※令和6年度は未開講)	社会福祉概論[老人・児童福祉を含む]A 法と経済[日本国憲法を含む]A 健康と音楽A	社会福祉概論[老人・児童福祉を含む]B 法と経済[日本国憲法を含む]B 健康と音楽B
	コンピューター演習A・B			
音楽専門教育科目	ドイツ語圏異文化コミュニケーション1・ドイツ語圏異文化コミュニケーション2			
	英語圏異文化コミュニケーション1・英語圏異文化コミュニケーション2			
	イタリア語圏異文化コミュニケーション1・イタリア語圏異文化コミュニケーション2			
音楽専門教育科目	和声学1 レッスンマネージメントA THEプロフェッショナルA 音楽の基礎理論A 音楽史A 楽器の特性と機能A 作曲家の人生と作品 I(※令和6年度は未開講) 作曲家の人生と作品 II	和声学2 レッスンマネージメントB THEプロフェッショナルB 音楽の基礎理論B 音楽史B 楽器の特性と機能B 楽曲の楽しみ方 I(※令和6年度は未開講) 楽曲の楽しみ方 II	和声学3 ピアノ指導者教材研究A シンギングポップスA サウンドクリエーションA	和声学4 ピアノ指導者教材研究B シンギングポップスB サウンドクリエーションB
	専攻実技1(管弦打楽器)	専攻実技2(管弦打楽器)	専攻実技3(管弦打楽器)	専攻実技4(管弦打楽器)
	合唱 I A	合唱 I B	合唱 II A	合唱 II B
	副科実技 I A(ピアノ)	副科実技 I B(ピアノ)	副科実技 II A(ピアノ)	副科実技 II B(ピアノ)
	副科実技 I A(声楽)	副科実技 I B(声楽)	副科実技 II A(声楽)	副科実技 II B(声楽)
	副科実技 I A(管弦打)	副科実技 I B(管弦打)	副科実技 II A(管弦打)	副科実技 II B(管弦打)
	アンサンブル I A ピアノ/電子オルガン/管弦打	アンサンブル I B ピアノ/電子オルガン/管弦打	アンサンブル II A ピアノ/電子オルガン/管弦打	アンサンブル II B ピアノ/電子オルガン/管弦打
	電子オルガン即興演奏 I A(※令和6年度は未開講)	電子オルガン即興演奏 I B(※令和6年度は未開講)	電子オルガン即興演奏 II A(※令和6年度は未開講)	電子オルガン即興演奏 II B(※令和6年度は未開講)
	オーケストラ I A ウインドオーケストラ I A	オーケストラ I B ウインドオーケストラ I B	オーケストラ II A ウインドオーケストラ II A	オーケストラ II B ウインドオーケストラ II B
	伴奏法		即興演奏	
ソルフェージュ1	ソルフェージュ2	ソルフェージュ3	ソルフェージュ4	
リトミック I A	リトミック I B	リトミック II A	リトミック II B	
演奏演習				
日本事情 I A 日本語1	日本事情 I B 日本語2	日本事情 II A 日本語3	日本事情 II B 日本語4	
ウィーンアカデミー(ウィーン研修)				
ヒューマンコミュニケーション1		ヒューマンコミュニケーション2		
インターンシップ				
地域創造A・B				
留学生科目	P.M.E I A	P.M.E I B	P.M.E II A	P.M.E II B
人間教育科目				
文化教養科目				

赤字	必修科目
青字	選択必修科目
黒字	選択科目

カリキュラムポリシー

知識・技能
 教養と技能を育む全学共通カリキュラム「東邦スタンダード」を設置する。
 広範で多様な基礎知識の獲得と専門性を高めるために、体系的で順次性のある幅広い学修が可能な科目群を設置する。
 専門的な方法論と知識を学ぶために、専攻実技は個人レッスンを実施する。

思考力・判断力・表現力
 専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。
 知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題探求力、問題解決力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブラーニングを取り入れた参加型の少人数授業を実施する。

意欲・関心・志向性
 社会とつながる学修の充実を図り文化の発展や地域社会に貢献できる人材育成。
 身に着けた知識やスキルを統合し、問題解決力と、新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する。

知識・技能
 多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力
 専門分野である管弦打楽器に関する専門的知識・技能を修得し、多様な音楽表現ができる。
 専攻分野を中心とした知識と技能

思考力・判断力・表現力
 現代社会に必要とされるコミュニケーション能力
 体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決をする能力
 自己発信のプレゼンテーション能力

意欲・関心・志向性
 専門分野を超えて問題を探求する姿勢
 自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野(自己管理能力・チームワーク)
 生涯にわたって探求しようとする姿勢(生涯学習力)
 多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲(社会的責任・チームワーク・リーダーシップ)

建学の精神・教育の理念「音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を目途とする」

・管弦打楽器の音楽の歴史や理論を体系的に理解し、時代様式に沿った演奏ができる。
 ・専攻楽器に関する専門的知識・技能を修得し、ソロ、オーケストラ等の実践に活かすことができる。
 ・専攻以外の楽器の特性や他領域にも国際的な視野を広げて、演奏に活かすことができる。

令和6年度 東邦音楽短期大学 音楽科【器楽専攻電子オルガンコース】カリキュラムツリー(履修系統図)

科目の区分	1年次		2年次	
	前期	後期	前期	後期
基礎教育科目	東邦スタンダード I A	東邦スタンダード I B	東邦スタンダード II A	東邦スタンダード II B
	キャリアデザイン			
外国の言語と文化	現代の心理学[発達心理を含む]A ひとを読み解く科学A(※令和6年度は未開講)	現代の心理学[発達心理を含む]B ひとを読み解く科学B(※令和6年度は未開講)	社会福祉概論[老人・児童福祉を含む]A 法と経済[日本国憲法を含む]A 健康と音楽A	社会福祉概論[老人・児童福祉を含む]B 法と経済[日本国憲法を含む]B 健康と音楽B
	コンピューター演習A・B			
音楽専門教育科目	ドイツ語圏異文化コミュニケーション1・ドイツ語圏異文化コミュニケーション2			
	英語圏異文化コミュニケーション1・英語圏異文化コミュニケーション2			
音楽専門教育科目	イタリア語圏異文化コミュニケーション1・イタリア語圏異文化コミュニケーション2			
	和声学1 レッスンマネージメントA THEプロフェッショナルA 音楽の基礎理論A 音楽史A 楽器の特性と機能A 作曲家の人生と作品 I(※令和6年度は未開講) 作曲家の人生と作品 II	和声学2 レッスンマネージメントB THEプロフェッショナルB 音楽の基礎理論B 音楽史B 楽器の特性と機能B 楽曲の楽しみ方 I(※令和6年度は未開講) 楽曲の楽しみ方 II	和声学3 ピアノ指導者教材研究A シンギングポップスA サウンドクリエーションA	和声学4 ピアノ指導者教材研究B シンギングポップスB サウンドクリエーションB
音楽専門教育科目	専攻実技1(電子オルガン)	専攻実技2(電子オルガン)	専攻実技3(電子オルガン)	専攻実技4(電子オルガン)
			卒業演奏・卒業作品発表又は卒業研究発表	
音楽専門教育科目	合唱 I A	合唱 I B	合唱 II A	合唱 II B
	副科実技 I A(ピアノ) 副科実技 I A(声楽) 副科実技 I A(管弦打)	副科実技 I B(ピアノ) 副科実技 I B(声楽) 副科実技 I B(管弦打)	副科実技 II A(ピアノ) 副科実技 II A(声楽) 副科実技 II A(管弦打)	副科実技 II B(ピアノ) 副科実技 II B(声楽) 副科実技 II B(管弦打)
音楽専門教育科目	アンサンブル I A ピアノ/電子オルガン/管弦打 電子オルガン即興演奏 I A(※令和6年度は未開講)	アンサンブル I B ピアノ/電子オルガン/管弦打 電子オルガン即興演奏 I B(※令和6年度は未開講)	アンサンブル II A ピアノ/電子オルガン/管弦打 電子オルガン即興演奏 II A(※令和6年度は未開講)	アンサンブル II B ピアノ/電子オルガン/管弦打 電子オルガン即興演奏 II B(※令和6年度は未開講)
	オーケストラ I A ウインドオーケストラ I A	オーケストラ I B ウインドオーケストラ I B	オーケストラ II A ウインドオーケストラ II A	オーケストラ II B ウインドオーケストラ II B
音楽専門教育科目	伴奏法		即興演奏	
	ソルフェージュ1	ソルフェージュ2	ソルフェージュ3	ソルフェージュ4
音楽専門教育科目	リトミック I A	リトミック I B	リトミック II A	リトミック II B
	演奏演習			
留学生科目	日本事情 I A 日本語1	日本事情 I B 日本語2	日本事情 II A 日本語3	日本事情 II B 日本語4
	ウィーンアカデミー(ウィーン研修)			
人間教育科目	ヒューマンコミュニケーション1		ヒューマンコミュニケーション2	
	インターンシップ			
文化教養科目	地域創造A・B			
	P.M.E I A	P.M.E I B	P.M.E II A	P.M.E II B

赤字	必修科目
青字	選択必修科目
黒字	選択科目

教養と技能を育む全学共通カリキュラム「東邦スタンダード」を設置する。

広範で多様な基礎知識の獲得と専門性を高めるために、体系的で順次性のある幅広い学修が可能な科目群を設置する。

専門的な方法論と知識を学ぶために、専攻実技は個人レッスンを実施する。

専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。

知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題探求力、問題解決力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブラーニングを取り入れた参加型の少人数授業を実施する。

社会とつながる学修の充実を図り文化の発展や地域社会に貢献できる人材育成。

身に着けた知識やスキルを統合し、問題解決力と、新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する。

多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力

専門分野である電子オルガンにおいて、専門的知識・技能を修得し、多様な音楽表現ができる。

専門領域以外にも国際的に視野を広げて演奏に活かすことができる。

現代社会に必要とされるコミュニケーション能力

体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決をする能力

自己発信のプレゼンテーション能力

専門分野を超えて問題を探求する姿勢

自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野(自己管理能力・チームワーク)

生涯にわたって探求しようとする姿勢(生涯学習力)

多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲(社会的責任・チームワーク・リーダーシップ)

建学の精神・教育の理念「音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を目的とする」

令和6年度 東邦音楽短期大学 音楽科【シンガーソングライター・アーティスト専攻】カリキュラムツリー(履修系統図)

科目の区分	1年次		2年次				
	前期	後期	前期	後期			
基礎教育科目	東邦スタンダード I A	東邦スタンダード I B	東邦スタンダード II A	東邦スタンダード II B			
	キャリアデザイン						
	現代の心理学[発達心理を含む]A ひとを読み解く科学A(※令和6年度は未開講)	現代の心理学[発達心理を含む]B ひとを読み解く科学B(※令和6年度は未開講)	社会福祉概論[老人・児童福祉を含む]A 法と経済[日本国憲法を含む]A 健康と音楽A	社会福祉概論[老人・児童福祉を含む]B 法と経済[日本国憲法を含む]B 健康と音楽B			
	コンピューター演習A・B						
	ドイツ語圏異文化コミュニケーション1・ドイツ語圏異文化コミュニケーション2						
	英語圏異文化コミュニケーション1・英語圏異文化コミュニケーション2						
	イタリア語圏異文化コミュニケーション1・イタリア語圏異文化コミュニケーション2						
	和声学1 レッスンマネージメントA THEプロフェッショナルA 音楽の基礎理論A 音楽史A 楽器の特性と機能A 作曲家の人生と作品 I (※令和6年度は未開講) 作曲家の人生と作品 II				和声学2 レッスンマネージメントB THEプロフェッショナルB 音楽の基礎理論B 音楽史B 楽器の特性と機能B 作曲の楽しみ方 I (※令和6年度は未開講) 作曲の楽しみ方 II	和声学3 ピアノ指導者教材研究A シンキングポップスA サウンドクリエーションA	和声学4 ピアノ指導者教材研究B シンキングポップスB サウンドクリエーションB
	スタジオワークエクスプレッション I		スタジオワークエクスプレッション II				
	専攻実技1 (シンガーソングライター・アーティスト)		専攻実技2 (シンガーソングライター・アーティスト)				
		卒業演奏・卒業作品発表又は卒業研究発表					
音楽専門教育科目	合唱 I A	合唱 I B	合唱 II A	合唱 II B			
	副科実技 I A(ピアノ)	副科実技 I B(ピアノ)	副科実技 II A(ピアノ)	副科実技 II B(ピアノ)			
	副科実技 I A(声楽)	副科実技 I B(声楽)	副科実技 II A(声楽)	副科実技 II B(声楽)			
	副科実技 I A(管弦打)	副科実技 I B(管弦打)	副科実技 II A(管弦打)	副科実技 II B(管弦打)			
	アンサンブル I A ピアノ/電子オルガン/管弦打	アンサンブル I B ピアノ/電子オルガン/管弦打	アンサンブル II A ピアノ/電子オルガン/管弦打	アンサンブル II B ピアノ/電子オルガン/管弦打			
	電子オルガン即興演奏 I A(※令和6年度は未開講)	電子オルガン即興演奏 I B(※令和6年度は未開講)	電子オルガン即興演奏 II A(※令和6年度は未開講)	電子オルガン即興演奏 II B(※令和6年度は未開講)			
	オーケストラ I A ウインドオーケストラ I A	オーケストラ I B ウインドオーケストラ I B	オーケストラ II A ウインドオーケストラ II A	オーケストラ II B ウインドオーケストラ II B			
	伴奏法		即興演奏				
	ソルフェージュ1	ソルフェージュ2	ソルフェージュ3	ソルフェージュ4			
	リトミック I A	リトミック I B	リトミック II A	リトミック II B			
演奏演習							
留学生科目	日本事情 I A 日本語1	日本事情 I B 日本語2	日本事情 II A 日本語3	日本事情 II B 日本語4			
人間教育科目	ヒューマンコミュニケーション1		ヒューマンコミュニケーション2				
	インターンシップ						
	地域創造A・B						
	文化教養科目						
P.M.E I A	P.M.E I B	P.M.E II A	P.M.E II B				

赤字 必修科目
青字 選択必修科目
黒字 選択科目

知識・技能
 教養と技能を育む全学共通カリキュラム「東邦スタンダード」を設置する。
 広範で多様な基礎知識の獲得と専門性を高めるために、体系的で順次性のある幅広い学修が可能な科目群を設置する。
 専門的な方法論と知識を学ぶために、専攻実技は個人レッスンを実施する。

思考力・判断力・表現力
 専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。
 知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題探求力、問題解決力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブラーニングを取り入れた参加型の少人数授業を実施する。

意欲・関心・志向性
 社会とつながる学修の充実を図り文化の発展や地域社会に貢献できる人材育成。
 身に着けた知識やスキルを統合し、問題解決力と、新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する。

カリキュラムポリシー
 思考力・判断力・表現力
 意欲・関心・志向性

知識・技能
 多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力
 専攻分野を中心とした知識と技能

思考力・判断力・表現力
 現代社会に必要とされるコミュニケーション能力
 体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決をする能力
 自己発信のプレゼンテーション能力
 専門分野を超えて問題を探求する姿勢
 自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野(自己管理能力・チームワーク)

意欲・関心・志向性
 生涯にわたって探求しようとする姿勢(生涯学習力)
 多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲(社会的責任・チームワーク・リーダーシップ)

ディプロマポリシー
 建学の精神・教育の理念(音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を目途とする)

シンガーソングライター・アーティストに関する専門的知識・技能を生かし、自らの音楽を創造・制作し、自分にはかない世界観を表現することができる。

・プロのミュージシャン、エン지니어とのセッションや様々な音楽のジャンルを学ぶことにより、音楽性の幅を広げ、自分の音楽制作に反映することができる。

・自作曲をライブで歌唱・演奏し、音源としても残すことができる。

・専門領域以外にも国際的に視野を広げて、音楽に活かすことができる。

令和6年度 東邦音楽短期大学 音楽科【音楽教養専攻 実技教養コース】カリキュラムツリー(履修系統図)

科目の区分	1年次		2年次	
	前期	後期	前期	後期
基礎教育科目	東邦スタンダード I A	東邦スタンダード I B	東邦スタンダード II A	東邦スタンダード II B
	キャリアデザイン			
	現代の心理学[発達心理を含む]A ひとを読み解く科学A(※令和6年度は未開講)	現代の心理学[発達心理を含む]B ひとを読み解く科学B(※令和6年度は未開講)	社会福祉概論[老人・児童福祉を含む]A 法と経済[日本国憲法を含む]A 健康と音楽A	社会福祉概論[老人・児童福祉を含む]B 法と経済[日本国憲法を含む]B 健康と音楽B
外国の言語と文化	コンピューター演習A・B			
	ドイツ語圏異文化コミュニケーション1・ドイツ語圏異文化コミュニケーション2 英語圏異文化コミュニケーション1・英語圏異文化コミュニケーション2 イタリア語圏異文化コミュニケーション1・イタリア語圏異文化コミュニケーション2			
音楽専門教育科目	和声学1 レッスンマネジメントA THEプロフェッショナルA 音楽の基礎理論A 音楽史A 楽器の特性と機能A 作曲家の人生と作品 I(※令和6年度は未開講) 作曲家の人生と作品 II	和声学2 レッスンマネジメントB THEプロフェッショナルB 音楽の基礎理論B 音楽史B 楽器の特性と機能B 楽曲の楽しみ方 I(※令和6年度は未開講) 楽曲の楽しみ方 II	和声学3 ピアノ指導者教材研究A シンキングポップスA サウンドクリエーションA	和声学4 ピアノ指導者教材研究B シンキングポップスB サウンドクリエーションB
	音楽教養基礎講座[楽典] I A 音楽教養基礎講座[ソルフェージュ] I A	音楽教養基礎講座[楽典] I B 音楽教養基礎講座[ソルフェージュ] I B	音楽教養基礎講座[楽典] II A 音楽教養基礎講座[ソルフェージュ] II A	音楽教養基礎講座[楽典] II B 音楽教養基礎講座[ソルフェージュ] II B
	音楽教養専攻実技1	音楽教養専攻実技2	音楽教養専攻実技3	音楽教養専攻実技4 卒業演奏・卒業作品発表又は卒業研究発表
	合唱 I A 副科実技 I A(ピアノ) 副科実技 I A(声楽) 副科実技 I A(管弦打)	合唱 I B 副科実技 I B(ピアノ) 副科実技 I B(声楽) 副科実技 I B(管弦打)	合唱 II A 副科実技 II A(ピアノ) 副科実技 II A(声楽) 副科実技 II A(管弦打)	合唱 II B 副科実技 II B(ピアノ) 副科実技 II B(声楽) 副科実技 II B(管弦打)
	アンサンブル I A ピアノ/電子オルガン/管弦打 電子オルガン即興演奏 I A(※令和6年度は未開講)	アンサンブル I B ピアノ/電子オルガン/管弦打 電子オルガン即興演奏 I B(※令和6年度は未開講)	アンサンブル II A ピアノ/電子オルガン/管弦打 電子オルガン即興演奏 II A(※令和6年度は未開講)	アンサンブル II B ピアノ/電子オルガン/管弦打 電子オルガン即興演奏 II B(※令和6年度は未開講)
	オーケストラ I A ウインドオーケストラ I A	オーケストラ I B ウインドオーケストラ I B	オーケストラ II A ウインドオーケストラ II A	オーケストラ II B ウインドオーケストラ II B
	伴奏法		即興演奏	
	ソルフェージュ1	ソルフェージュ2	ソルフェージュ3	ソルフェージュ4
	リトミック I A	リトミック I B	リトミック II A	リトミック II B
	演奏演習			
留学生科目	日本事情 I A 日本語1	日本事情 I B 日本語2	日本事情 II A 日本語3	日本事情 II B 日本語4
人間教育科目	ヒューマンコミュニケーション1		ヒューマンコミュニケーション2	
	インターンシップ			
	地域創造A・B			
文化教養科目	P.M.E I A	P.M.E I B	P.M.E II A	P.M.E II B

赤字	必修科目
青字	選択必修科目
黒字	選択科目

カリキュラムポリシー

知識・技能
 教養と技能を育む全学共通カリキュラム「東邦スタンダード」を設置する。
 広範で多様な基礎知識の獲得と専門性を高めるために、体系的で順次性のある幅広い学修が可能な科目群を設置する。

思考力・判断力・表現力
 専門的な方法論と知識を学ぶために、専攻実技は個人レッスンを実施する。
 専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。

意欲・関心・志向性
 社会とつながる学修の充実を図り文化の発展や地域社会に貢献できる人材育成。
 身に着けた知識やスキルを統合し、問題解決力と、新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する。

建学の精神・教育の理念「音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を目的とする」

知識・技能
 多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力
 専門分野に関する基本的知識・技能を修得し、自らの演奏スタイルを確立することができる。
 専攻分野を中心とした知識と技能

思考力・判断力・表現力
 現代社会に必要なとされるコミュニケーション能力
 体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決をする能力
 自己発信のプレゼンテーション能力

意欲・関心・志向性
 専門分野を超えて問題を探求する姿勢
 自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野(自己管理能力・チームワーク)
 生涯にわたって探求しようとする姿勢(生涯学習力)
 多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲(社会的責任・チームワーク・リーダーシップ)

・実技の基本技術を身につけ、実践することができる。
 ・歴史や理論を理解し、時代の様式を踏まえた演奏ができる。
 ・専門領域以外にも国際的に視野を広げて、演奏に活かすことができる。

令和6年度 東邦音楽短期大学 音楽科【音楽教養専攻 文化教養コース】カリキュラムツリー(履修系統図)

科目の区分	1年次		2年次	
	前期	後期	前期	後期
基礎教育科目	東邦スタンダード I A	東邦スタンダード I B	東邦スタンダード II A	東邦スタンダード II B
	キャリアデザイン			
	現代の心理学[発達心理を含む]A ひとを読み解く科学A(※令和6年度は未開講)	現代の心理学[発達心理を含む]B ひとを読み解く科学B(※令和6年度は未開講)	社会福祉概論[老人・児童福祉を含む]A 法と経済[日本国憲法を含む]A 健康と音楽A	社会福祉概論[老人・児童福祉を含む]B 法と経済[日本国憲法を含む]B 健康と音楽B
	コンピューター演習A・B/文化芸術論A・B			
	ドイツ語圏異文化コミュニケーション1・ドイツ語圏異文化コミュニケーション2			
	英語圏異文化コミュニケーション1・英語圏異文化コミュニケーション2			
	イタリア語圏異文化コミュニケーション1・イタリア語圏異文化コミュニケーション2			
	和声学1 レッスンマネジメントA THEプロフェッショナルA 音楽の基礎理論A 音楽史A 日本音楽史 楽器の特性と機能A 作曲家の人生と作品 I (※令和6年度は未開講) 作曲家の人生と作品 II	和声学2 レッスンマネジメントB THEプロフェッショナルB 音楽の基礎理論B 音楽史B 西洋音楽史 楽器の特性と機能B 楽曲の楽しみ方 I (※令和6年度は未開講) 楽曲の楽しみ方 II	和声学3 ピアノ指導者教材研究A シンキングポップスA サウンドクリエーションA	和声学4 ピアノ指導者教材研究B シンキングポップスB サウンドクリエーションB
	音楽教養基礎講座[楽典] I A 音楽教養基礎講座[ソルフェージュ] I A	音楽教養基礎講座[楽典] I B 音楽教養基礎講座[ソルフェージュ] I B	音楽教養基礎講座[楽典] II A 音楽教養基礎講座[ソルフェージュ] II A	音楽教養基礎講座[楽典] II B 音楽教養基礎講座[ソルフェージュ] II B
	音楽文化論A・B(※令和6年度は未開講)			
合唱 I A	合唱 I B	合唱 II A	合唱 II B	
ソルフェージュ1	ソルフェージュ2	ソルフェージュ3	ソルフェージュ4	
卒業演奏・卒業作品発表又は卒業研究発表				
日本事情 I A 日本語1	日本事情 I B 日本語2	日本事情 II A 日本語3	日本事情 II B 日本語4	
ヒューマンコミュニケーション1		ヒューマンコミュニケーション2		
インターンシップ				
地域創造A・B				
音楽実技 I A	音楽実技 I B	音楽実技 II A	音楽実技 II B	

赤字 必修科目
青字 選択必修科目
黒字 選択科目

カリキュラムポリシー

知識・技能
教養と技能を育む全学共通カリキュラム「東邦スタンダード」を設置する。
広範で多様な基礎知識の獲得と専門性を高めるために、体系的で順次性のある幅広い学修が可能な科目群を設置する。
専門的な方法論と知識を学ぶために、専攻実技は個人レッスンを実施する。

思考力・判断力・表現力
専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。
知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題探求力、問題解決力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブ・ラーニングを取り入れた参加型の少人数授業を実施する。

意欲・関心・志向性
社会とつながる学修の充実を図り文化の発展や地域社会に貢献できる人材育成。
身に着けた知識やスキルを統合し、問題解決力と、新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する。

ディプロマポリシー

知識・技能
多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力
専門分野に関する基本的知識・技能を修得し、自らの演奏スタイルを確立することができる。
専攻分野を中心とした知識と技能

思考力・判断力・表現力
現代社会に必要なとされるコミュニケーション能力
体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決をする能力
自己発信のプレゼンテーション能力

意欲・関心・志向性
専門分野を超えて問題を探求する姿勢
自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野(自己管理能力・チームワーク)
生涯にわたって探求しようとする姿勢(生涯学習力)
多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲(社会的責任・チームワーク・リーダーシップ)

建学の精神・教育の理念【音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を目的とする】